

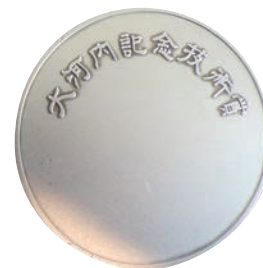
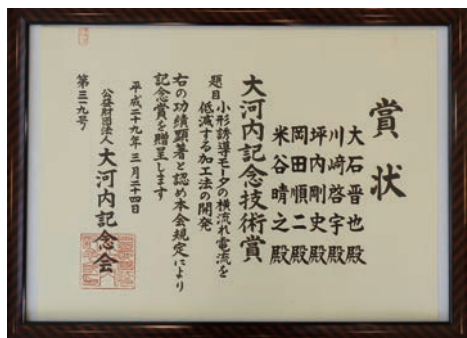
## 「第63回大河内賞 大河内記念技術賞」を受賞

“小形誘導モータの横流れ電流を低減する加工法の開発”が、「第63回大河内賞 大河内記念技術賞」を受賞した。

家電製品には構造が簡単で安価な誘導モータが幅広く用いられており、その一層の小形・高性能・省資源化が重要な課題である。当社では小形化に伴って回転子のアルミ導体と鉄心の接触による横流れ電流が増え、損失が増加することを見いだした。これを低減する加工法として、回転子を回転軸の回りにねじり・戻して絶縁性を安定的に維持する方法を考案し、

完全自動化ラインのタクト内で実現した。

今回の受賞は、この独創的かつ一般性を持つ技術開発によって、誘導モータの大きな性能向上と生産性向上を実現した業績が高く評価されたものである。



## 「第49回市村産業賞 貢献賞」を受賞

“電動パワーステアリングの性能・機能向上による普及率拡大”が「第49回市村産業賞 貢献賞」を受賞した。当社は1988年に電動パワーステアリング用モータとコントローラの量産化に成功し、従来の油圧パワーステアリングに比べて3～5%の燃費改善効果を見込めることから普及が進んだ。当初は軽乗用車や小型車が対象だったが、小型・高出力化、低騒音化、故障時の操舵(そうだ)アシスト継続による安全性の向上などの技術開発によって、車体の大きな車種への搭載を可能にし、電動パワーステアリングの普及率の拡大とCO<sub>2</sub>排出削減に大きく貢献している。また、高い安全要求に

も対応しており、先進運転支援システムを支える製品として更なる発展が期待されている。



## 「電子情報通信学会マイルストーン」に18件が選定

電子情報通信学会は、1917年に創立された電子情報通信及び関連する分野の国際学会である。2017年に100周年を迎えたことを記念し、電子情報通信の研究開発の歴史と意義を振り返るとともに、次の100年に向けて更なる革新を起こす次代の研究者や技術者にその創出過程を伝えることを目的に、社会や生活、産業、科学技術の発展に大きな影響を与えた研究開発の偉業を「電子情報通信学会マイルストーン」として選定することになり、このたび、当社のこれまでに研究開発した電子情報通信分野の技術・製品18件が選定された。

選定された案件(\*1)

基礎・境界分野	(1)Reed-Solomon符号とその復号法 (2)暗号解析・安全性 (3)国際標準暗号
通信分野	(4)PONを用いたトリプルプレイサービス (5)デジタルコヒーレント光伝送方式 (6)テラビットWDM光増幅中継伝送方式 (7)宇宙通信技術 (8)高感度電波望遠鏡技術 (9)国際衛星通信用アンテナ (10)警察用デジタル移動無線 (11)マイクロ波無線中継方式 (12)富士山レーダ (13)MUレーダ (14)狭域通信(DSRC)の多目的利用を実現する通信基盤
エレクトロニクス分野	(15)人工網膜LSIの概念創出とその事業化 (16)通信用半導体レーザの開発と実用化
情報・システム分野	(17)映像符号化の標準化 (18)ベクトル量子化

\*1 どの案件も、他機関・他者との共同・連名で選定されている。